

6 林 業

項 目	作 業 内 容
<p>乾しいたけ栽培 について</p> <p>(1) 今春植菌ホ ダ木の本伏せ</p>	<p>(今月の作業のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今春植菌ホダ木の本伏せ</li> <li>○ホダ場の管理</li> </ul> <p>5月は気温が上昇し、樹皮部の急激な乾燥によりニマイガワキン、クロコブタケといった害菌が繁殖しやすくなる。このため、今春植菌し、仮伏せ中のホダ木の種菌頭部に菌糸が白く発生、あるいはホダ木の木口に菌糸紋が確認されたら、すみやかに本伏せを行う。本伏せには林内伏せと裸地伏せがあり、以下を参照とする。</p> <p>ア 伏込み場の選定</p> <p>一度伏せ込むと移動に手間がかかるため、直射日光が当たらない・風通しが良い・水はけが良い・湿度が低い、などの条件を満たす伏込み場を慎重に選定する。</p> <p>イ ホダ木の組み方</p> <p>ホダ木の組み方には鳥居、よろい、百足、井桁、合掌などがあり(次ページ写真)、どのホダ木にも雨が当たり、風が通るように組む。組み方や組む高さは、伏込み地の乾燥状態、ホダ木の直径の大小、ホダ木の水分量などを考慮して決める。例えば、大径木のホダ木や水分の多いホダ木であれば、鳥居か百足にして高く組み、風通しを良くすることで、ホダ木の水分低下を促進する(次ページ表、写真)。</p> <p>ウ 林内伏せ</p> <p>スギ林、ヒノキ林、常緑広葉樹林などの林内へ伏せ込むときは、雨がよく当たり、冬場に温度が確保できる明るい林を選ぶ。谷間のスギ林へ伏せ込む際は、間伐や枝打ちを行い、日当たり・風通しを良くする。落葉樹林への伏込みは、落葉樹の葉がない初冬～5月上旬は、笠木や遮光ネットなどでホダ木を覆い、直射日光が当たらないようにする。組み方は、よろいを基本とし、条件によって鳥居や百足、井桁などとする。</p> <p>エ 裸地伏せ</p> <p>原木の伐採跡地などに伏せ込む場合、ホダ木に直射日光が当たらないよう、ホダ木の上に伐採した原木の枝葉を笠木として被せる。笠木は、上から見てホダ木が隠れるよう厚さ30 cm程度に敷き詰める。横方向については、伏込みの高さだけ両脇に張り出すようにし、特に西日がホダ木に当たらないよう気を付ける。組み方は、よろいまたは鳥居とする。</p>

項 目	作 業 内 容																																				
<p>(2)ホダ場の管理</p>	<p>表 伏込み場とホダ木の組み方</p> <table border="1" data-bbox="507 246 1439 689"> <thead> <tr> <th data-bbox="507 246 821 302">伏込み場</th> <th colspan="3" data-bbox="821 246 1439 302">ホダ木の組み方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="507 302 821 347">裸地</td> <td data-bbox="821 302 1029 347">鳥居伏せ</td> <td colspan="2" data-bbox="1029 302 1439 347">よろい伏せ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 347 821 392">マツ・落葉樹の混交林</td> <td data-bbox="821 347 1029 392">よろい伏せ</td> <td data-bbox="1029 347 1236 392">百足伏せ</td> <td data-bbox="1236 347 1439 392">鳥居伏せ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 392 821 436">落葉樹林</td> <td data-bbox="821 392 1029 436">よろい伏せ</td> <td data-bbox="1029 392 1236 436">百足伏せ</td> <td data-bbox="1236 392 1439 436">鳥居伏せ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 436 821 481">常緑広葉樹林</td> <td data-bbox="821 436 1029 481">よろい伏せ</td> <td colspan="2" data-bbox="1029 436 1439 481">百足伏せ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 481 821 526">ヒノキ林</td> <td data-bbox="821 481 1029 526">よろい伏せ</td> <td data-bbox="1029 481 1236 526">井桁伏せ</td> <td data-bbox="1236 481 1439 526">三角伏せ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 526 821 571">スギ林</td> <td data-bbox="821 526 1029 571">よろい伏せ</td> <td data-bbox="1029 526 1236 571">井桁伏せ</td> <td data-bbox="1236 526 1439 571">三角伏せ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 571 821 616">竹林</td> <td data-bbox="821 571 1029 616">よろい伏せ</td> <td data-bbox="1029 571 1236 616">井桁伏せ</td> <td data-bbox="1236 571 1439 616">三角伏せ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 616 821 660">人工庇陰</td> <td data-bbox="821 616 1029 660">よろい伏せ</td> <td data-bbox="1029 616 1236 660">井桁伏せ</td> <td data-bbox="1236 616 1439 660">三角伏せ</td> </tr> </tbody> </table>	伏込み場	ホダ木の組み方			裸地	鳥居伏せ	よろい伏せ		マツ・落葉樹の混交林	よろい伏せ	百足伏せ	鳥居伏せ	落葉樹林	よろい伏せ	百足伏せ	鳥居伏せ	常緑広葉樹林	よろい伏せ	百足伏せ		ヒノキ林	よろい伏せ	井桁伏せ	三角伏せ	スギ林	よろい伏せ	井桁伏せ	三角伏せ	竹林	よろい伏せ	井桁伏せ	三角伏せ	人工庇陰	よろい伏せ	井桁伏せ	三角伏せ
	伏込み場	ホダ木の組み方																																			
	裸地	鳥居伏せ	よろい伏せ																																		
	マツ・落葉樹の混交林	よろい伏せ	百足伏せ	鳥居伏せ																																	
	落葉樹林	よろい伏せ	百足伏せ	鳥居伏せ																																	
	常緑広葉樹林	よろい伏せ	百足伏せ																																		
	ヒノキ林	よろい伏せ	井桁伏せ	三角伏せ																																	
	スギ林	よろい伏せ	井桁伏せ	三角伏せ																																	
	竹林	よろい伏せ	井桁伏せ	三角伏せ																																	
	人工庇陰	よろい伏せ	井桁伏せ	三角伏せ																																	
<p>オ 散水</p> <p>散水施設のある伏込み場では、降雨がなければ週2回（1回あたり2時間）程度、ホダ木の裏側までしっとり濡れるくらい散水し、しいたけ菌糸の伸展・まん延を促進する。</p>																																					
<p>収穫が終了したホダ場では、ホダ木の回復を図るため、防風ネットを取り外して通風を良好にする。また、春先と5月では林内の被陰位置が変化しているため、ホダ場内をよく観察して、ホダ木へ直射日光が当たらないよう努める。</p>																																					
																																					
																																					
<p>写真 ホダ木の組み方</p> <p>(左上) よろい伏せ (中上) 井桁伏せ (右上) 鳥居伏せ</p> <p>(左下) 三角伏せ (中下) 百足伏せ</p>																																					